

備前市事務事業評価シート

(平成21年度事業)

事業の概要			
事業開始年度		平成19年～	
総合計画	大項目	基本目標	02 健康でやさしさあふれるまちづくり
	中項目	基本施策	01 やさしさあふれるまちづくり
	小項目	施策	01 子育て支援
事務事業名		18	弱視等治療用眼鏡等購入費助成事業
根拠法令・例規等		備前市弱視等治療用眼鏡等購入費助成事業実施要綱	
問		担当課(室)	こども課
合		職・氏名	主幹 畑下昌代
先		電話	0869-64-1853
このシート作成に要した時間		2.0 時間	

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	満9歳に達する日から満15歳に達する日までの児童
目的(何のために)	児童の弱視又は、斜視の治療用眼鏡等の購入に係る費用の一部を助成することにより、児童福祉の向上に資することを目的とする。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	未来を担う子どもたちの成長や子育てを社会全体で応援していくという意識の高まりや子育ての経済的支援をする。

事業の実績			
目的を達成するために実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	弱視等治療用眼鏡等購入費助成事業	保険適用とならない9歳以上15歳までの児童弱視等治療用眼鏡等購入に係る費用の一部を助成します。	◎

事業費等		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績	
決算額	直接事業費	千円	96	59	15	
	必要人員(人件費)	千円	0.01人	135	0.08人	751
	事業費計	千円	231	810	114	
	国県支出金	千円				
	受益者負担	千円				
繰入金債	千円					
その他()	千円					
一般財源	千円	231	810	114		
受益者負担比率	%	-	-	-		
結果指標名		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績	
結果指標	結果指標量	事業	5	3	1	
	対前年比	%	-	60.0%	33.3%	
	活動コスト	円	96,645	5,876	15,435	
	単位当たりコスト	円	19,329	1,959	15,435	

事業の成果						
助成件数	成果指標名	年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度目標値
		目標値(A)	5	5	5	5
		実績値(B)	5	3	1	到達目標値
	達成率(B/A)		100.00%	60.00%	20.00%	
成果指標設定の考え方・式や説明						
医師の診断によるため、成果指数は困難						

事務事業の評価				
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 <A~E> C	
	効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託等)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 <A~E> B
		有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している

進行年度(H22年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
		○				
説明	平成19年度から実施している事業であり、児童福祉の向上を目指して助成制度対象者に広く周知することが必要である。					

総合評価	
平成19年度から実施している事業であり、児童福祉の向上を目指して助成制度対象者に広くHPや広報等で周知することが必要である。	評価区分 <A~E> C

平成23年度の方向性及び取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
		○				
取組目標	事業の性質から継続していく必要がある。					

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性の評価を行って下さい

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい

留意事項
事業の目的やその効性の値目標である成果指標を行って下さい

